

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

4年 3月 1日

市川市長

団体名 なのはな奉仕会

(団体番号 No.41

代表者名

所在地



3年 4月 /日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、
下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	52,556円
(2) 補助対象経費総額	31,780円
(3) 補助金交付決定額	102,976円
(4) 補助金交付概算払額	102,976円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	高齢者施設への慰問事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 新型コロナウイルスの為に活動中止が相次ぎました。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	広報呼びかけはしませんでした。年末に各施設へ、訪問以来の申し込み往復はがきを送付し、希望日を年3回程書き込み返信して頂き、他の施設との日時調整しながら実施しています。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 新型コロナウイルスが落ち着き次第活動を再開する予定です。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 昨年会員の増員がありましたが、新型コロナウイルスの為に思うように活動が出来ず残念でした。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 子ども館にて演技披露
撮影年月日: 令和4年1月8日



タイトル :

撮影年月日:



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称： 高齢者施設への慰問事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	0	
寄附金収入	0	
補助金収入	102,976	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	7,000	市川市社会福祉協議会助成金
会費充当	29,666	団体の本会計より充当
返金	-87,086	
合計	52,556	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費			外部講師等の招へい あり/なし
交通費	8,820	8,820	訪問先までの電車及びバス代
消耗品費	10,860	10,000	書類作成インク代
印刷製本費	1,620	1,620	プログラム他コピー代
通信運搬費	5,040	5,040	往復はがき
保険料	6,300	6,300	ボランティア活動保険料
使用料及び賃借料	5,430	0	公民館使用料
事務費	1,480	0	
雑費	13,006		
合計	52,556	31,780	



※ 領収書(原本)を添付してください。

様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

令和4年3月¹~~15~~日

市川市長

団体名 なのはな奉仕会
(団体番号 41)
代表者名 
所在地 

令和3年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

- 1 補助決定事業の名称
高齢者施設への慰問事業
- 2 変更の内容
こども館での演技披露
- 3 変更の理由
新型コロナウイルスの影響によるもの。



市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2022年 3月 22日

市川市長

団体名 市川写真家協会

(団体番号 43)

代表者名

所在地

2021年7月 / 日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	730,489円
(2) 補助対象経費総額	290,884円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	第17回市川フォトフェスティバル2021
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>2021年11月10日～14日全作品展示期間 芳澤ガーデンギャラリー 来場者767人 2021年11月27日～12月5日発表展 アイリンクタウン45階展望室 来場者6254人 2022年1月8日～27日一般の部巡回展 道の駅いちかわ情報コーナー 来場者49660人 2022年1月20日～27日小学生の部巡回展 シャポー市川むすぶば 来場者数不明</p> <p>第17回市川フォトフェスティバルは、市川市文化会館の改修工事を受け、初の芳澤ガーデンギャラリー開催となった。展示方法の変更に伴い施設見学、展示シミュレーションを入念に行った。また展示スペースの減少から例年行う昔の写真、IPPS会員およびクラブ会員の展示は割愛となった。コロナ禍における開催として、公募作品数の集まりに不安はあったが129点の良作が集まりまずまずの成果であった。大筋として本展示→発表展→巡回展という流れは従来通りだが、今回は千葉商科大学との連携で小学生作品に「商大生選出特別賞」を設けたり、むすぶばの会場デザインと設営をお願いして、新たな試みの一つ達成することができた。</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・応募要項を市内全小学校および公民館、図書館、協賛企業、協力店舗、過去応募者などに送付（全27000部を配布）。 ・開催告知チラシ、ポスター、はがきを上記と同様に配布、設置。 ・Twitter、Facebook、Instagramにて情報発信
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>受益者である来場者の声として、フォトフェスティバルを楽しみにしているという声を頂戴した。開催側の自己満足に終わらないイベントである証であり、こうした声は励みになる。2019年の第15回の時にも見られたが、今回も一般の部に20代の参加があった。やはりSNSでの発信は若年層に浸透を見せるものとうかがえ、今後も地道に進めていきたい。</p> <p>次に地域への貢献という観点で、千葉商科大学との連携を挙げる。政策情報学部吉羽准教授のゼミ生にチラシ、ポスター、はがき（開催告知物）の制作を依頼して3年目、今回も力作が11点集まった中から僅差の決選投票にて選んだ。学生にとっては実習にとどまらない実践の場として達成感の高い取り組みになっており、吉羽ゼミの成果物として学内外での発表に活用されているようである。この開催告知物は市内各所に配られるほか会場内に展示しており、吉羽ゼミおよび千葉商科大学の地域貢献、地域連携においてイメージアップの機会にもなっている。今後もフォトフェスティバルとの協働を積極的に続ける方向で話をいただいている。</p> <p>当協会にとっては「学生の力」が追い風になっていることは間違いなく、これからも柔軟な発想と色使い、レイアウトなど、様々なアイデアをお借りしながら、この関係を維持していきたいと思う。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>継続して課題に挙げているのは、妙典・行徳地区での巡回展開催である。全市内を対象に作品を募集しているにも関わらず、当該地区で開催できていないことは残念である。以前行徳I&Iで予約した展示を舞台行事のために断られた経験から、会場確保の難しさを痛感しており、安価で借りられる広いスペースを現在も検討している。</p> <p>文化会館の改修に伴い芳澤ガーデンギャラリーで開催したが、予想通り壁面の減少から、会議で何度も検討の結果、昔の写真、IPPS会員およびクラブ員の展示を割愛することとした。一般の部の公募数が9月末まで未知数のため展示し切れるか心配を抱えながらの進行だったが、来場者の見やすさを第一に考え抜いた展示レイアウトは、詰まりすぎず空きすぎず程よいものとなった。</p> <p>経験にない疫病下、施設閉鎖の可能性、千葉商科大学生の登校がままならないなど、開催に支障を来す事態が起こる懸念はあった。しかし、一般と小学生からの募集は停止したものの過去の作品の振り返りとして開催した昨年度の第16回に続き、今回も諦めずにさらに公募を再開して開催したことは、フォトフェスティバルの将来に大きく影響する判断であった。千葉商科大学との連携が継続できたこと、そして何より出品者との関りを再開できたことに意義があった。我々はその努力により、微力ながらも市川の魅力発信と郷土愛の醸成、写真文化の維持発展に貢献できたと自負している。今後も来場者の心を捉えるイベントとして開催を継続したい。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 全作品展示会場 一般公募の部 (芳澤ガーデンギャラリー)

撮影年月日 : 2021年11月14日



タイトル : 初の開催となったシャポー市川むすぶばにて小学生作品巡回展

撮影年月日 : 2022年1月19日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：第17回市川フォトフェスティバル2021

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	193,500	一般の部応募料金1,500円×129作品
寄附金収入	180,000	協賛金収入
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	200,000	千葉商科大学地域志向助成金
会費充当	11,547	団体の本会計より充当
返金	-4558	
合計	730,489	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	43,800	0	外部講師等の招へい/なし 入賞商品、賞状
交通費	17,010	6,600	搬入搬出、会期中駐車料金
消耗品費	201,373	110,000	展示用ボード、展示用品
印刷製本費	207,779	9,370	開催告知ポスター、チラシ
通信運搬費	99,838	94,914	応募要項送付料、小学生作品返却送料
保険料			
使用料及び賃借料	114,700	70,000	芳澤ガーデンギャラリー使用料
原材料費			
手数料	1,650		振込手数料
会議費	29,579		会期中弁当飲料
技術料	14,760		作品複写、画像処理
合計	730,489	290,884	

※ 領収書(原本)を添付してください。

様式第12号 (第11条関係)

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和 3 年 12 月 14 日

市川市長

団体名 市川児童合唱団

(団体番号 45)

代表者名

所在地



令和 3 年 7 月 1 日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について
下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	778,610 802,000	円
(2) 補助対象経費総額	258,741	円
(3) 補助金交付決定額	150,000	円
(4) 補助金交付概算払額	150,000	円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称

「ひびけ！とどけ！子どもらの歌声、市川の街に」事業

計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください

補助決定事業の 実施内容

(計画に照らした事業の実施
結果を記載してください)

実施時期 令和3年09月23日(木/祝)

実施場所 全日警ホール(市川市八幡市民会館)

内容 添付したプログラムによる「市川児童合唱団 第46回
定期演奏会」を企画・制作し、開催いたしました

参加人数 出演した団員とOG 29名

上演 staff 2名、裏方 staff 11名(外部講師も含みます)

その他の関係者25名

入場者138名 左記入場者の8割が市川市民です

チケット番号を記載把握することで、市内の方を
カウントしています

広報の実施状況

(市民の参加を呼び掛ける
ために実施した広報等の実
施状況を記載してください)

広く市民の参加を呼びかけるため、例年は以下の広報活動を実施して
きたが、今回は新型コロナウイルス感染症の感染対策として、ホールの収容
人数が半分(326人→163人)に制限された中での開催となったため、
③と④については見合わせた。

- ① インターネットを活用し情報発信 →ホームページ
- ② フリーペーパーへの掲載→「いちかわよみうり」「アエルデ」等
- ③ 広報いちかわ(市民の広場)に掲載
- ④ その他 最寄り駅、市立公民館、公立小学校及び幼稚園への
チラシ配布とポスター掲示

補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域が
どのように変わったのか等、得ることができた成果を具体的に記載して下さい

2020年早々、新型コロナウイルス感染症によってもたらされたパンデ
ミックの荒波は、私たち市川児童合唱団(以下市児)をも瞬く間に飲
込んでしまいました。3月2日に始まった学校の一斉休校、前後4度
にわたる緊急事態宣言の発出、蔓延防止等重点措置の適用などなど
によって、私たちは練習もコンサートもオーストラリア演奏旅行も春と
夏の合宿もスキー教室もハイキングも、一切合財中止せざるを得ない
状況に追込まれました。

パンデミック以前、市児のこどもたちは週末になれば市川の全域から
集まって来て、歌ったり踊ったりお喋りをしたりしました。そんな当
たり前のような日常が、突如として奪われたのです。

補助決定事業の成果

(課題をどのように解決することができたのかを記載してください)

市児のこどもたちは日本全国のこどもたちがそうであったように、体調を崩したり心のバランスを失ったりし、休校が解除された後も学校に行けない子が出たりして、不安に苛まれ、孤独に苦しみ、未来に対する形のない闇を抱えるようになりました。

こうした日々は長期化し、出口はなかなか見出せず、その結果、近年急激に顕在化するバーチャル環境への親和（ゲームへの没頭、SNSへの依存等々）は促進され、こどもたちが他者と向い合い血の通った交流を構築すべき機会の喪失状況は、さらに助長されたと言えます。私たち市児のスタッフ、団員とその父母たちは、こうした閉塞環境と人間関係の希薄化に真っ向から向き合いました。

まずオンラインレッスンを開始して試行錯誤を繰返しました。更にマスク着用や時間短縮や出席人数の制限を受入れながら、ライブレッスンを慎重に積み重ねました。

今回のこの補助決定事業（市川児童合唱団「第46回定期演奏会」の上演）は、正に市川市を始めとする関係諸所のご好意と関係諸氏のご尽力、そして団員とその父母たち、そして指導スタッフたちの熱意と信念の賜物でありました。

パンデミックは今も世界であまねく猖獗を極めています。バーチャル環境への傾斜はますます加速して歩を緩めることはありません。私たちの課題解決は、いまだ道半ばであります。しかしながらこうした活動を継続して行くことこそが、課題の解決に至る、必要不可欠な手だてであり方向であろうかと考えます。

当日の参加者は200名に満たず、多くの市民のご来場を仰ぐことが出来たと胸を張るには忸怩たる思いもございますが、次回の事業への確乎たる橋渡しとなったことだけは瞭然分明であると考え、ここにご報告する次第でございます。

補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください

補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策

(今後の方向性)

インターネット社会がもたらす対人関係の希薄化は、偶発的のものではなく一過性のものでありません。今後ますます必然の流れとして私たちの社会に浸透し常態化してゆくものと思われまます。

そうした既定路線とも言える奔流に対峙して、人と人の顔が見える対人関係を見失わないためにも、バーチャルでない創造活動は、連綿として継続して行かなければならないように思えてなりません。

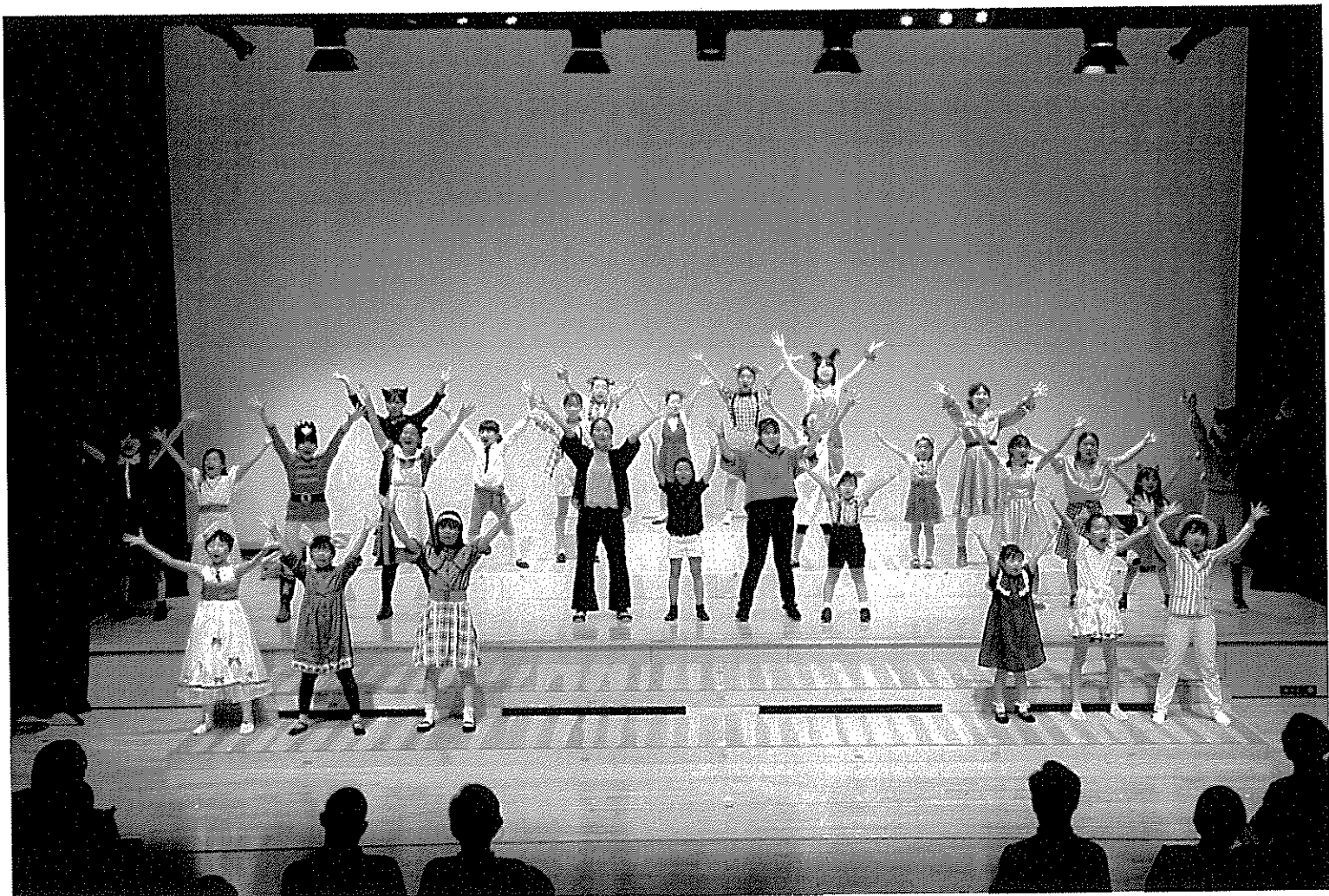
……私たちのささやかな活動に対する共感の輪が少しずつでも広がってゆくよう、広報その他に知恵を絞って行きたいと考えております。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル 「市川児童合唱団 第46回 定期演奏会」

撮影年月日 令和3年9月23日(木/祝)



市川児童合唱団 第46回定期演奏会

2021年9月23日 於:全日警ホール(市川市八幡市民会館) 撮影:スタジオ・スペース・フォト



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称:「ひびけ!とどけ!子どもらの歌声、市川の街に」事業

1 【収 入】

(単位:円)

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	652,000	演奏会費 正団員 15,000円×27人= 405,000円 準団員 10,000円×01人= 10,000円 ダンス・レッスン料 3,000円×27人= 81,000円 透明マスク 販売 1セット500円×30セット= 15,000円 チケット販売/全自由席 1,000円×141枚= 141,000円
寄附金収入		
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	0	
補助金返金	-23,390	
合計	778610	

2 【支 出】

(単位：円)

項目	支出金額	内 補助対象金額	説明 (積算等)
報償費	508,846	210,000	外部講師等の招聘あり 謝金 (補助対象金額) ① 指揮者 (飯田 満) 50,000円 (内 50,000円) ② ピアノ (岩本果子) 15,360円 (内 00,000円) ③ 振付 (佐藤 薫) 157,280円 (内 50,000円) ④ 舞台監督 (岩野太門) 10,000円 (内 10,000円) ⑤ 音響 (サウンド・オフィス) 100,000円 (内 50,000円) ⑥ 照明 (高橋 亮) 50,000円 (内 50,000円) ⑦ 照明 助手 (平田幸雄) 10,000円 (内 00,000円) (①～⑦) / 小計 392,640円 ⑧ 受付 1名 3,000円 (内 00,000円) ⑨ 練習ピアニスト謝金 63,206円 (内 00,000円) ⑩ ビデオ撮影 10,000円×2名 20,000円 (内 00,000円) ⑪ ビデオ制作 1名 30,000円 (内 00,000円)
交通費	0	0	⑫ 従事スタッフ 0円
印刷製本費	106,208	48,741	印刷製本費 (補助対象金額) ⑬ あとりえむじいか 版下製作 (デザイン&データ) 30,000円 (内 00,000円) ⑭ ラクスル (株) チラシ (A4 両面 カラー) 13,991円 (内 13,991円) チケット (横型片面 カラー) 9,614円 (内 09,614円) プログラム (A3 両面 カラー) 12,958円 (内 12,958円) プログラム (同上 修正版) 8,184円 (内 00,000円) 文集 (A4・8ページ) 12,178円 (内 12,178円) (小計) 56,925円 ⑮ コピー (楽譜、ポスター、他) 19,283円 (内 00,000円)
使用料 及び 賃借料	77,770	0	⑯ 全日警ホール (市川市八幡市民会館) 【9月22日&9月23日】 ホール 使用料/ 33,560円 ㉑ 第1控室・第2控室 使用料/ 880円 ㉒ 第1練習室・第2練習室 使用料/ 4,290円 ㉓ 第1会議室・第2会議室 使用料/ 4,280円 ㉔ 付帯設備 使用料/ 円 ㉕ (㉑+㉒+㉓+㉔+㉕) / 小計 43,010円 ⑰ 練習会場 (2021年8月&9月) 市川公民館 (内訳は領収書を参照) 21,380円 ㉖ 松藤恒夫邸 (内訳は領収書を参照) 4,000円 ㉗ 東部区民館 (内訳は領収書を参照) 5,960円 ㉘ 八幡市民会館 (内訳は領収書を参照) 3,420円 ㉙

消耗品費	42,956	0	⑮ 事務用品 (封筒、筆記用具、舞台設営の為の小物、他) 42,956円
通信 運搬費	9,460	0	⑰ 通信費 (案内状&招待状郵送のための切手等) 3,060円 ⑱ 機材運搬 by 岩野太門 (足立区本木西町→市川) 0円 by タクシー (市川→足立区本木西町) 6,400円
保険料	0	0	
原材料費	4,125	0	⑲ 音楽著作権 JASRAC 4,125円
食糧費	26,095	0	⑳ 昼食&飲料 (講師&裏方スタッフのための) 11,210円 ㉑ 打上げ 14,885円 打上げ経費内訳 ㉒ 飲料 (ダイエー) 7,385円 ㉓ 食料 (シャポー) 不明 (領収書紛失) ㉔ アンカー経費 7,500円
その他	3,150	0	㉕ 記念品 (出演者のための) 3,150円
合計	778610	258741	

備考

- 1 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 2 市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書 (様式第11号) を提出する際、市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書 (様式第12号) とともに領収書を添付する必要があります。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2022年 3月 31日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人
市民後見センターちば

(団体番号 47)

代表者名

所在地

2021年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	155,398円
(2) 補助対象経費総額	114,253円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



補助決定事業の名称	市民に広く成年後見制度を広め、その活用を推進する																				
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>1. 成年後見制度・入門編／相談会 前年度までの方法と違う方法で、8月より新・市民後見人養成講座としてスタートしました。(7回開催:1カ月休み 延べ8名参加)</p> <p>2. 成年後見制度研修会(ステップアップ講座) 2回を1回に減らし、「死後事務について」をズーム開催しました。20名を超えず、助成金 対象外企画となりました。(10名)</p> <p>3. 出前講座 いずれもケアマネジャー及び相談員の方からの要請で2か所開催。他1件の申込ありましたが、延期され、2022年度開催を計画中です。 ■南八幡ワークス(施設内開催:15名) ■癒しのケアプランセンター(市川おにたか館にてズーム開催) (8拠点20名)の2件開催ができました。</p> <p>4. 相談会 広く一般に広げた相談会は開催せず、個別相談として、前年度から継続し、4月より11月まで行いました。(のべ8名)</p> <p>今年度は、会議をはじめ、全体的にリモートでの開催となりました。そのことは、感染リスクの軽減はもとより移動時間短縮の面でも有効的であったと考えられます。 しかし一方、当会が成年後見制度の対象者及び周囲にいらっしゃる一般の方が、専門職の方を除くと中高年の方が多いため、実際の開催があっても参加に積極的でないことが想定され、また会場の人数制限もあり、結局実施に踏み切ることができませんでした。 また、中高年以上の一般の方がリモートでの参加ができるのかについても論議になり、また、会内部でのリモート会議が定着してきてはいるものの、相変わらず、なにかの不都合で会議に参加が遅れる会員の方がいらっしゃいます。その原因が何か?不明なまま現在まで来ています。内部問題としては、困ったなで済ませようとするれば済ませることでありますが、一般の方の参加、尚且つ、有料企画として開催に否定的な意見も出ました。 一方、ケアマネジャーさんを始めとする専門職の方との連携は、逆に移動に時間が必要ない分ズーム開催、相談等もできるようになってきていましたので、力点をこちらに置くようシフトしています。そのことは、被後見人等の方との接触が多い専門職の方を支援することにより成年後見制度の嵩上げをしていくことになるからです。</p>																				
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	上記の実施内容にもありますが、広く一般的な方に声を掛けて開催する企画が設定できなかったこと。準備の為、会員が集い印刷作業をするのを控えざるを得なかった。ことから、従来通りに多数のチラシを作成配布する、印刷チラシまで、メールに添付したり、小枚数をプリント志つ宣伝活動については、基本的には、施設、専門職を通じての広報が中心となりました。																				
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<table border="1" data-bbox="762 1301 1423 1346"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <p>今年度は、一般の方に直接的に広く啓発活動をするにはなりませんでしたが、専門職の方達とお話しする機会が増え、その動向の一端の理解と新たな現場での問題点を把握することができました。その面では、出前講座の提案が大きく位置づけられると思います。具体的な事項としては課題と改善策に記載します。</p> <table border="1" data-bbox="762 1518 1423 1554"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>																				
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	まず、事業の進め方としては、一般の方直接の啓発活動は、コロナ感染状況に相当影響されるため、感染状況改善した際に対応することとし、来年度においては、一般の方に近い現場にいらっしゃる専門家の方達に対する啓発活動を中心として、現場で支援する方を支援し、間接的に成年後見制度の利用促進につなげていくこととします。具体的には、一般の方においては、成年後見制度に関する情報量が増えてきており、以前ほど抵抗感は少なくなってきたと思われること。相変わらず、専門職の中にもあるためか、成年後見制度の2制度の違いが良くわからない方が多く、混乱しているのの声が寄せられているようですので、その点の伝え方については、従来通り専門職の方に理解を進めて頂き、一般の方への分かりやすい説明ができるような提案、講座をしていく必要があります。また、専門職の方の中からの問合せとして、制度利用者本人が亡くなったあと、所謂、「死後事務」について光をあて、対応します。それは、成年後見制度上、被後見人の方が亡くなった時点で後見人の役割が終了する。ということだからくるものであり、制度上の問題点としても広く言われてきたことです。やはり、出てきたか?制度利用が広まっていく中で、当然被後見人の死亡については、避けられないことでもあります。そのことが、関係者の中でわが身のこととして認知され、問題視されていることが分かったことです。広く市民への啓発活動は、コロナ感染状況を見ながら、当面、一般市民の方への現場での影響力の高いケアマネジャーを中心に専門職の方への啓発を進めていくこととする。																				

市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：市民に広く成年後見制度を広め、その活用を推進する事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	0	参加費徴収講座未開催
寄附金収入		
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他(助成金等)		
会費充当	98,272	団体の本会計より充当
補助金返還	-92,874	
合計	155,398	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	40,000	0	★ステップアップ講師30,000円 ★出前講座講師2件 (迫田、渡邊5,000円x2=10,000円)
交通費	21,686	21,686	安部圭子5,142円迫田雅子5,770円 小川314円 渡邊(相談8,640円) + (講座1820円)
消耗品費	37,145	36,000	トナー(9,900円x2=19,800円) ラベル2,360円 ファイル他1,738円リフィル640円 コピー用紙268円+3,168円+3,070円 カラー用紙6,101円
印刷製本費	0	0	■外部委託印刷はしていません
通信運搬費	40,837	40,837	■ヤマト運輸(6,131円) 4月分336円5月分1,176円6月分252円 7月分728円8月分168円10月分84円 11月分168円12月分1,144円12月分168円 1月分378円2月分84円+84円3月分1,361円 ■レターバック・切手(34,706円) 5/28 2,460円7/4 2,100円12/2 3,596円 3/31 26,550円
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	15,730	15,730	■相談会場 12/12-990円 ■Zoom使用料(8/12) 22,110円x8か月=14,740円 ※8月よりズーム講座開始毎月開催
その他	0	0	■新聞折込は実施していません
			★印は、当会負担費用(補助金対象外)
合計	155,398	114,253	

※ 領収書(原本)を添付してください。

様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

2022年 3月 31日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人
市民後見センターちば

（団体番号 47）

代表者名

所在地

2021年 4月 1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称

市民に広く成年後見制度を広め、その活用を推進する事業

2 変更の内容

2回開催予定であったステップアップ講座を1回開催に変更

3 変更の理由

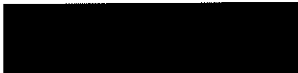

新型コロナウイルス感染拡大の影響のため



市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和4年3月31日

市川市長

団体名 梨風苑ガーデニングサークル
(団体番号 49)
代表者名 
所在地 

令和3年7月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	77971円
(2) 補助対象経費総額	70000円
(3) 補助金交付決定額	35000円
(4) 補助金交付概算払額	35000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	「花と緑のまち運動」事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 ・2021年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響の中で、メンバー間で役割分担をして、苗づくりと花壇への移植等を行った。 ・春は定番のマリーゴールド、ペチュニア、ニチニチソウ、大葉（シソ）の苗づくりに取り組んだ。 ・秋はハーブのフレンチラベンダーとハボタンの苗づくりに取り組んだ。 ・11月後半にチューリップの球根の寄せ植えを作りを行った。 ・2021年度も恒例の花まつり（オープンガーデン）を自粛したため、作成した苗や寄せ植えの販売は行わず、地域の希望者に配布したが、複数の方から寄付をいただくことができた。 ・メンバーによって整備された大野公園、北側緑地の花壇の状態は良好で、不特定多数の方に喜んでいただき、多くの方に寄付をいただいで活動が継続できている。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	新型コロナウイルス感染防止のため、広報活動はFacebookを使ったもののみを行った。 https://www.facebook.com/rifuen.gardening.circle/
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 2020年度に続き、新型コロナウイルスの影響は受けたものの、感染に注意しながら、それぞれ担当する役割を精力的にこなし、大野公園、北側緑地、そして地域の住宅で四季折々の花が楽しめる状態を作ることができた。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 ・新型コロナウイルスはサークル活動を進めるうえで大きな障害となった。メンバーの多くがシニアであり、感染が命にかかわる可能性もあるため、定期的に行ってきた会議や交流のための会食、サークルの重要イベントである花まつりのすべてを自粛せざるを得なくなった。 ・サークル活動は楽しみもなければ、継続して参加しようとする人は少なくなってしまうため、花の鑑賞会を開催することで感染防止に注意しながら目的意識をもって楽しく活動を続けられるようにしたい。2022年度はチューリップ（4月上旬）、藤（4月下旬）、あじさい（6月）、菊（11月）の鑑賞会を計画している。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

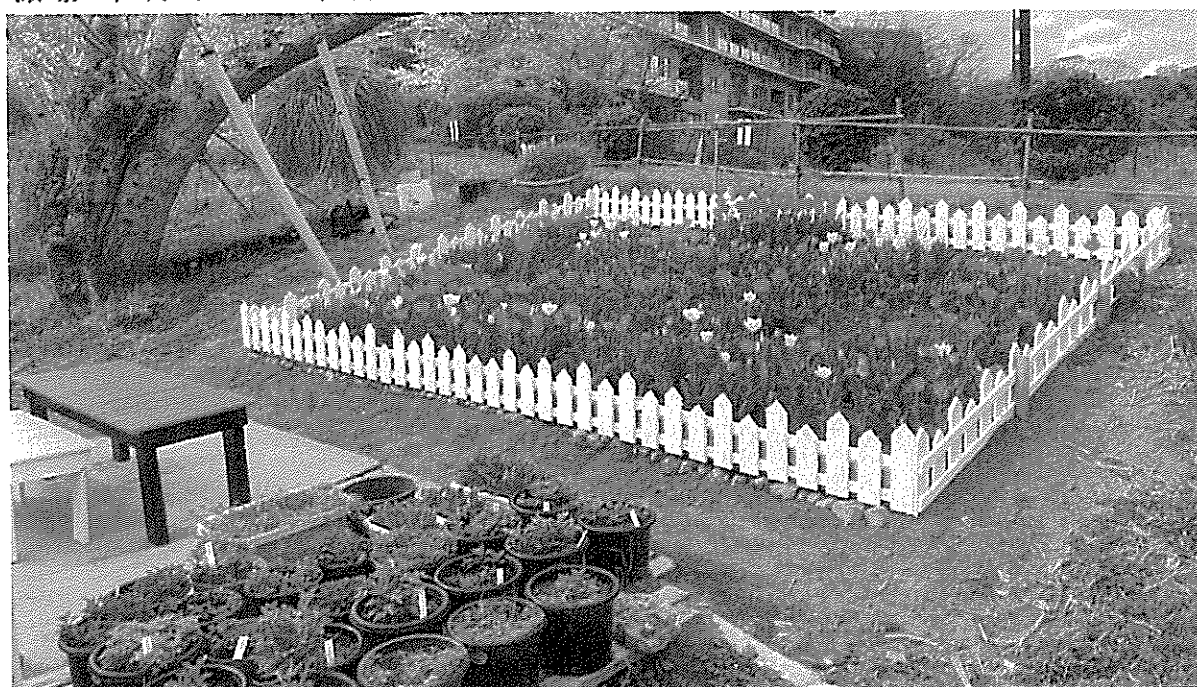
タイトル : 菊の鑑賞会

撮影年月日 : 2021年11月13日



タイトル : チューリップの花壇も整備して鑑賞会の準備

撮影年月日 : 2022年3月30日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称:「花と緑のまち運動」事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	0	
寄附金収入	29000	サークルの活動への寄付金(賛助会費)
補助金収入	35000	
その他 (助成金等)	0	
会費充当	13971	団体の本会計より充当
合計	77971	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費			外部講師等の招へい あり/なし
交通費			
消耗品費	77971	70000	消耗品費内訳
			費目 金額
			A 花苗 24,338
			B 球根 9,940
			C 肥料 15,476
			D 園芸用土 28,217
			合計 77,971
印刷製本費			
通信運搬費			
保険料			
使用料及び賃借料			
原材料費			
合計	77971	70000	

※ 領収書(原本)を添付してください。

様式第7号（第8条関係）

市川市市民活動団体補助決定事業（中止・廃止）承認申請書

令和4年3月31日

市川市長

団体名 アンサンブル・市川

（団体番号 54 ）

代表者名

所在地

令和3年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の中止の承認を受けたいので申請します。

記

1 補助決定事業の名称

「上質な吹奏楽に包まれて感動の生涯教育を！」

2 中止の理由

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため（緊急事態宣言発令のため）



市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2022年2月1日

市川市長 村越祐民 様

団体名 国分川鯉のぼり実行委員会

(団体番号 57)

代表者名

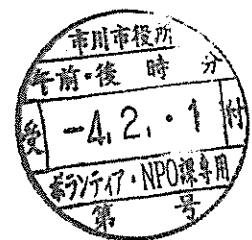
所在地

令和3年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	195,533円
(2) 補助対象経費総額	109,939円
(3) 補助金交付決定額	82,789円
(4) 補助金交付概算払額	82,789円



(5) 実施報告

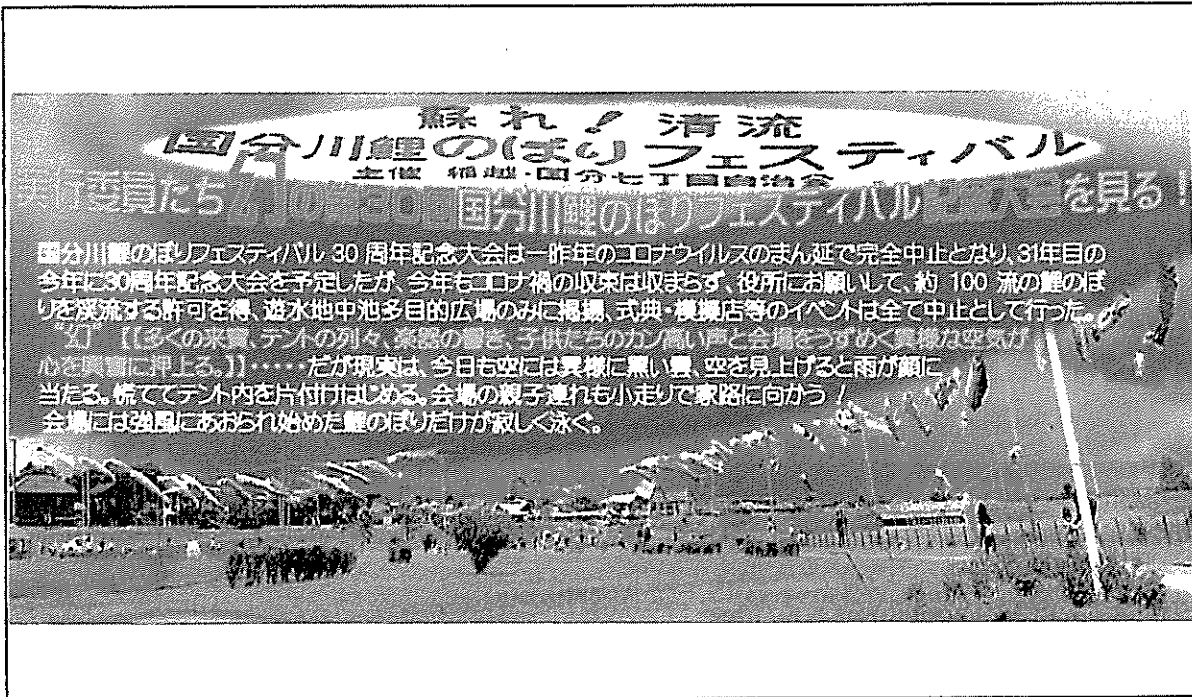
補助決定事業の名称	国分川鯉のぼりフェスティバル 浄化装置?
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>国分川鯉のぼりフェスティバルは今年で30回記念大会の節目を迎えての開催になりました。昨年は新型コロナの影響で開催を断念致しました。本年もコロナは収束に至らず、小規模の開催に余儀なくされました。Withコロナの中でもスローガンである「国分川・春木川の「流れ清流!」は厳然と継承され、青少年の健全育成や地域の絆の強化に貢献できたと自負しております。残念ながら出来なかったことは、①当実行委員会及び循環パートナー、近隣協力者と共に調整池中池、国分川、春木川周辺のゴミ拾い ②お餅の無料配布2,000食 ③30数店舗の模擬店 ④演芸 ⑤市川消防局の特殊車両の試乗体験などです。市の生活環境保全課が発行する浄化装置資料を提供頂き会場にパネル展示し、来場者にも「流れ清流」のスローガンをアピールしご理解頂きました。昨年市のご厚意によりメインホール専用基礎が4基完成し120匹小規模掲揚にはなりましたが大型鯉のぼりはこのメインホールを悠々と泳ぐことができました。4月29日から5月4日までの6日間会場開放には延べ約8,000人が来場し子どもから高齢者までが楽しく初夏の心地よい時間を過ごして頂きました。また開催地元稲越小学校からは児童の課外授業として見学に訪れて頂きました。</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	SNS・自治会広報(1,000部)・商店・近隣企業・自治会掲示板(50ヶ所)・有線TV・市の広報誌・ポスター近隣自治会の掲示板等・各町内外の友人知人各団体、グループ等へのPR活動の実施・地域新聞掲載。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>市川市の補助事業に認定されたことによって、実行委員及び協力者の鯉のぼりに対する意識が高まりました。そのことが本来の目的である国分川・春木川の浄化と環境保全の取り組みとしてご理解が定着して参りました。残念なことにこのコロナ禍に於きましては三密を避ける事が収束に向かう手立てであり、地域住民や諸団体に美化運動を呼びかけ、国分川周辺の草刈りやゴミ拾いを実施することはできませんでした。今は稲越自治会と国分7丁目自治会が中心に行っている国分川鯉のぼりフェスティバルも、国分地区や曾谷地区の各自治会に少しずつ浸透して協力の姿勢が見えてきたと思います。住環境の向上は、住んで良かった町になるはずである。</p> <p>将来的には川上から川下まで、すなわち松戸市から市川市までの国分川流域の自然環境の保全に繋がるような運動になることを心から期待しています。</p> <p>今回は、市川市環境保全課のご協力により春木川、国分川はじめ市内河川の水質改善推移のデータ(平成13年から平成28年まで)を提供いただきパネル化し参加者にアピールが出来、我々のスローガンの認識とご協力の啓蒙運動がより充実したフェスティバルになった。毎年増加傾向にある見学者の安全・安心対策の一つにイベント保険の加入を昨年より継続している。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>事業目的である国分川の水質浄化や環境保全と子どもの健全育成を達成するために、水源を同じくする「春木川をきれいにする連絡協議会」と連携して、水質調査も行い経過をリポートして行きたい。</p> <p>今では市川北部を代表する風物詩として定着しているので、さらに「鯉のぼりフェスタ」もSDGs:持続可能な運営とし、発展させる為には、①ボランティアとして実施可能な規模と構築作業の効率化とは ②実施するための必須マンパワー量 ③実行委員の高齢化と後継者育成 ④資金等が今後2、3年先の緊急課題となっている。これらの課題は実行委員の殆どが共有しており、毎回対策を講じている。次回からは、一昨年獲得した全国イベント大賞次点賞から大賞を獲得に挑戦すべく、地元国分高校等を中心とした若い力を取り込むことによって②の課題を改善したい。これらも子供から大人までの幅広い層に自然保護や水質浄化をアピールしていけると確信している。</p> <p>自然環境はただ見守るだけでは荒廃してしまうので、人間が優しくかわるることによってのみ達成されると確信している。次回からも「いちかわ道の駅」の来場者も鯉のぼりの会場へ足を運んでいただき。我々のスローガンを更にPRするサビスの場として当施設を歓迎すると共に、コロナの相乗効果は多大である。外環道開通と共に、本下水道の敷設も始まり、国分川流域の下水も徐々に完備され、早急に生活排水の流入が無くなる日を期待している。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

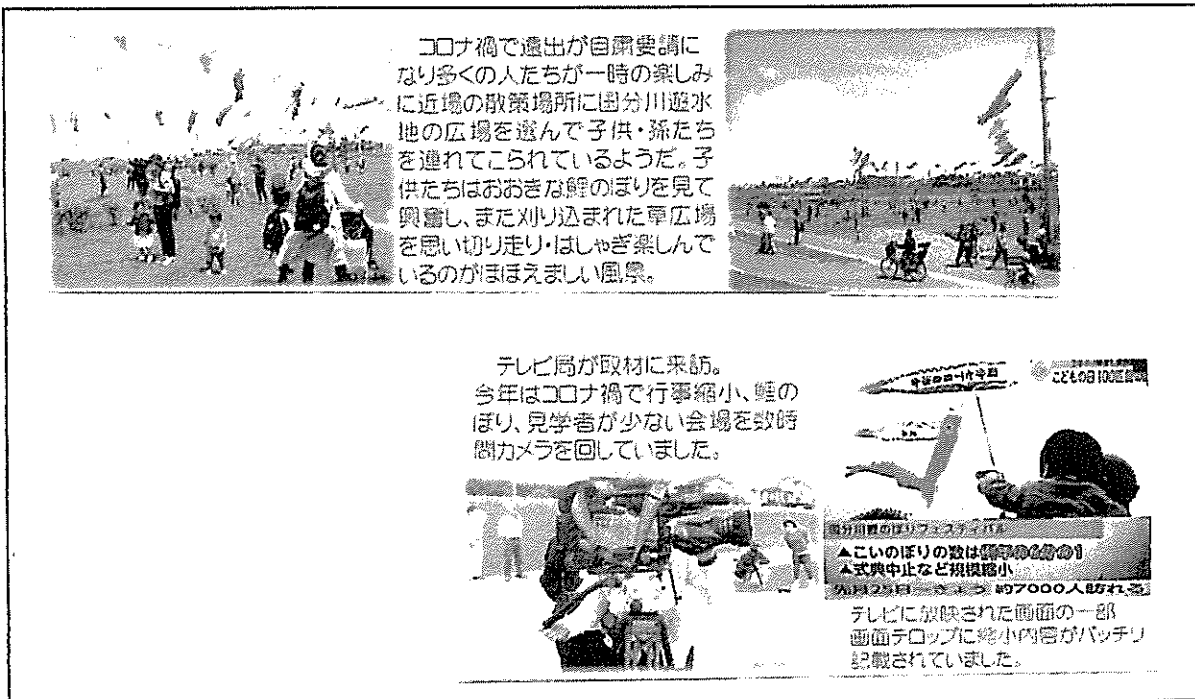
タイトル : 幻の第30回記念大会全景と実行委員会の思い！！

撮影年月日 : 令和3年5月3日



タイトル : 5月4日の賑わい・フジTV取材等

撮影年月日 : 令和3年5月4日



市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書

補助金決定事業の名称: 国分川鯉のぼりフェスティバル

1 【収入】 (単位:円)

項目	金額	説明 (積算等)
事業収入	30,000	模擬店売上 (ミニ鯉の売上のみ) ※今回は直営飲食販売模擬店は無し
寄附金収入	63,000	自治会、神社、協力者、実行委員等より
補助金収入	82,789	市川市市民活動団体事業補助金(4月1日通知額暫定払い)
その他 (助成金等)	25,000	市川市観光協会より (小規模開催として)
会費充当	22,564	当実行委員会より不足分充当
補助金返金額	▲ 27,820	82,789-(109,939/2)
合計	195,533'	

2 【支出】 (単位:円)

項目	金額	うち補助対象金額	説明 (積算等)
報償費	0	0	演芸参加者・講演者への謝礼 ※今回は無し
交通費	0	0	関係官庁への申請、実施報告等(マイカー使用)
消耗品費	85,372	85,372	紅白テープ、軍手: 5,615・事務局、広報、会計用PCインク: 17,078・ブラ段10枚A4コピー用紙等: 9,067・リングキャッチシンプルテープ: 5,596・シンプルテープ: 3,399・トラロープ内標識コイル100m: 2,508・ボール用自在バンド: 5,456・PPロープ、コピー用紙、テープ類、鋸3丁、ラミネートフィルム等: 19,927・番線、ビニルテープ、ウェス等: 3,467・トラ粘着テープ、安全トラテープ: 2,321・名札19個、ラジホソチ4丁: 7,072・会場ごみ袋: 954・穴掘り機用混合オイル: 2,200・雑糸: 712
印刷製本費	4,838	4,838	ポスター製作費: 2,000、ポスター用光沢紙: 2,838
通信運搬費	0	0	
保険料	19,729	19,729	イベント保険4/25・29・5/5 日分: 6,909・借用トラック保険1台分: 12,820
使用料 及び賃借料	0	0	警察道路使用申請料: 令和2年度分認められず
原材料費	0	0	
協力者謝礼	20,000		協力企業、協力者、協力機関への謝礼
食糧飲料費	50,594		作業員への弁当、お茶
渉外活動費	15,000		近隣関係機関との渉外活動費、弔慰金等
合計	195,533'	109,939	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2022年 3 月 31 日

市川市長

団体名 赤レンガをいかす会

（団体番号 59 ）

代表者名

所在地

2021年7月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	259,223. 円
(2) 補助対象経費総額	254,520. 円
(3) 補助金交付決定額	150,000. 円
(4) 補助金交付概算払額	150,000. 円



(5) 実施報告

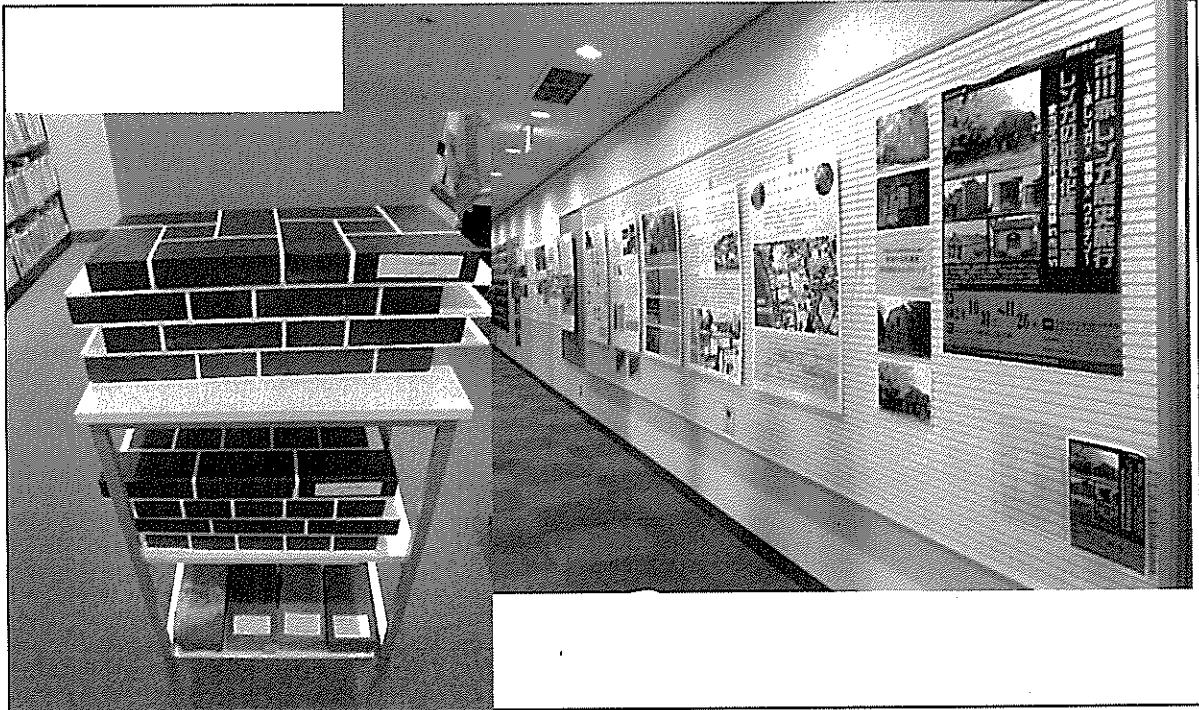
<p>補助決定事業の名称</p>	<p>赤レンガ保存活動2021</p>
<p>補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)</p>	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤レンガ建築物に関する知識を市民に広めるために、赤レンガ勉強会を主に開く予定であったが公民館等の施設の使い勝手が悪くまたZoomを使ったオンライン勉強会も敬遠されて回数を減らし内容を圧縮して行ったが当初の予定まで達しなかった。 ・研究及び展示は千葉商大ゼミ生も参加して予定通り 駅南図書館で11月に開催した。 ・3月に開催予定であったシンポジウムは、広報広聴課・秘書課からのオファーがあり市長懇話会として活動の発表、意見交換が出来た。
<p>広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会はホームページ、SNS、口コミなどで広報している。 ・展示会は ポスターの他チラシ、ホームページ、SNS、口コミなどで広報した。
<p>補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤レンガ建築物が国府台に現存していること。 ・明治時代中期に陸軍教導団の施設として建築されたこと。 ・建築史的にも、軍の歴史としても、また市川市の歴史でも重要な価値があり文化財として保存する意味があること。 ・また赤レンガの建つ敷地が血清研の跡地であり明治時代の地形を残す敷地であることなどが理解された。 ・さらに跡地を利用して新しい時代に相応しい、市民に開かれた施設として計画する必要があることにも関心を持って貰えた。
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強会にしても研究活動にしても当事者が赤レンガを見たことがない市民が多いことがネックである。 ・2016年までは「赤レンガ見学会」を年に1回定期的に開いてきた。その当時の参加者は300人以上だった事を考えると早急に見学会を開く事が急がれる。 ・見学者を増やし興味を持たせた上で、研究会、勉強会を開けば大きな関心を以て参加してくれるだろう。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : パネルと煉瓦の積み方模型の展示 えきなんギャラリー

撮影年月日: 2021/10/29



タイトル : 「赤レンガ懇話会」で展示パネルの説明

撮影年月日: 2022/1/16



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称： 赤レンガ保存活動2021

1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	10,000	勉強会参加費
寄附金収入	75,000	有志カンパ
補助金収入	150,000	イチサホ仮払金
その他 （助成金等）		
会費充当	46,973	団体の本会計より充当
返し戻し金	-22,740	150,000-127,260
合 計	259,233	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	15,000	15,000	外部講師等の招へい あり
特別研究費	150,000	150,000	25,000×6名
交通費	16,880	15,000	
消耗品費	37,833	35,000	P-ink、模型材料、塗料など
印刷製本費	34,860	34,860	パネル出力13, 200+パネル代21,600
通信運搬費	0	0	
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	4,660	4,660	室料
原材料費			
合 計	259,233	254,520	254,520/2=127,260

※ 領収書（原本）を添付してください。